

## 解答

① (1)  $\frac{2}{3}$  (2) 286個 (3) 平均値  $\cdot 3.4$  (4)  $49\frac{1}{3}\text{cm}^3$

② (1) 角ADCの大きい方の大きさを $e^\circ$ とすると、 $e + d = 360$ なので、 $d = (360 - e)$ となる。

また、四角形の内角の和は $360^\circ$ なので、 $a + b + c + e = 360$ で、 $a + b + c = (360 - e)$ となる。

したがって、 $a + b + c = d$ が成り立つ。(解答例)

(2)① 大野 ② ソフトボール

③ (1) 3 : 4 (2) 2 : 3 (3)  $612\text{cm}^3$

④ (1) 7 (2)  $\square - 1$  (3) (7, 35, 290), (17, 20, 120)

⑤ (1) ア…15 イ…15

(2) ウ… $a - 1$

説明 a, b, c, dが出たときの花子が勝つ場合の数はそれぞれ $(a - 1)$ 通り、 $(b - 1)$ 通り、 $(c - 1)$ 通り、 $(d - 1)$ 通りで、7が出たときの花子が勝つ場合の数は $(7 - 1) = 6$ 通りなので、

$$(a - 1) + (b - 1) + (c - 1) + (d - 1) + 6 + 6 = a + b + c + d + 8$$

より、花子が勝つ場合の数は $(a + b + c + d + 8)$ 通りになる。(解答例)

(3) 11通り